

CASP+

CompTIA Advanced Security Practitioner+

セキュリティ実務者としてのキャリアを育成する
サーバーセキュリティプロフェッショナル向けの認定資格

Gain Mastery-Level Security with CASP+ Certification



上位のサイバーセキュリティスキルを育成し、
サイバー脅威に対抗できる人材を強化する

WHAT IS CASP+?

CASP+ (CompTIA Advanced Security Practitioner+) は、ポリシーやフレームワークの管理といったマネジメント業務ではなく、セキュリティの実務者としてのキャリアに進む方に適切な認定資格です。

CLOUD COVERAGE

政府機関のクラウド採用の要因は、効率的なサービスの提供とコストの削減です。政府機関のパブリッククラウドサービスの利用は、2021年までに年間平均で17.1%の成長が見込まれています。クラウドのセキュリティを確保するためには、サイバーセキュリティプロフェッショナルが必要です。CASP+ は、クラウドにおけるセキュリティにも精通でき、スキルを育成することが可能です。

DoD 8570/8140 APPROVED

CASP+ は、ISO17024 に準拠しており、米国防総省で指定した必須資格として活用されています。CASP+ は、DoD 8750/8140 指令において、IAT III、IAM II、IASAE I と II の職務に就く際の必須資格とされています。

QUALIFIED EMPLOYEES

CASP+ は、セキュリティの管理者ではなく、高度なスキルを持つサイバーセキュリティ実務者としての実践的な認定資格です。

CASP+ 認定資格を取得する音で、以下のようなスキルを有していることを証明します。

- ・エンタープライズセキュリティアーキテクチャ
- ・リスクマネジメント
- ・エンタープライズセキュリティオペレーション
- ・エンタープライズセキュリティの技術統合
- ・調査、開発およびコラボレーション

CASP+ は、サイバーセキュリティの概念、エンジニアリング、複雑な環境下におけるセキュアなソリューションの統合と実装を行うためのスキルと知識を網羅し、レジリエンスの高い企業をサポートする人材を育成します。



" 業界の業界による
業界のための資格 "

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会を中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CompTIA CASP+ SME

- 海外 / 一部抜粋
 - Department of Defense, US Army
 - U.S. Department of Defense
 - Amazon Web Services
 - American Financial Group
 - Deloitte & Touche LLP
 - GE Capital/Synchrony Financial
 - Motorola
 - Texas Military Department
- 日本 (50 音順)
 - NRI セキュアテクノロジーズ株式会社
 - S&J 株式会社
 - 株式会社クレオ

DoD Approved IA 8570/8140 Baseline Certifications

IAT Level I	IAT Level II	IAT Level III
A+ Network+ SSCP	GSEC Security+ CySA+ SSCP	CASP+ CSA CISSP (or Associate) GCIH
IAM Level I	IAM Level II	IAM Level III
CAP GSEC Security+	CASP+ CAP GSEC CISM CISSP (or Associate)	GSEC CISM CISSP (or Associate)
IASAE Level I	IASAE Level II	IASAE Level III
CASP+ CISSP (or Associate)	CASP+ CISSP (or Associate)	CISSP-ISSEP CISSP-ISSAP



CASP+ 取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

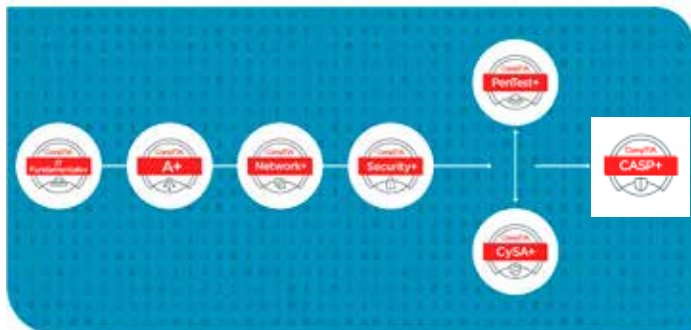
- サイバーセキュリティ / IS プロフェッショナル
- インフォメーションセキュリティアナリスト
- セキュリティアーキテクト
- IT スペシャリスト
- サイバーセキュリティリスクアナリスト
- セキュリティエンジニア
- アプリケーションセキュリティエンジニア

Advanced Cyber Skills

CASP+ 認定資格試験には、パフォーマンスベーステストが含まれており、シミュレーション環境で実際に作業を行うことで実務的なスキルを評価します。

- エンタープライズセキュリティの出題範囲は、オペレーションとアーキテクチャの概念、手法、要件などが含まれています。
- トレンドデータの解釈やビジネスゴールを達成するために必要とされるサイバーディフェンスニーズなどの予測からリスク分析を実施できるスキルに重点を置いています。
- モバイルやスモールフォームファクタ (Small Form Factor, SFF) デバイス、ソフトウェアの脆弱性のようなセキュリティ管理の出題が拡充されています。
- クラウドと仮想化テクノロジーをエンタープライズアーキテクチャにセキュアに統合するためのスキルが広く網羅されています。
- ブロックチェーンやモバイルデバイスの暗号化などの暗号技術の実装について出題されています。

CASP+ は、最低 10 年の IT 管理者としての実務経験を持ち、そのうち少なくとも 5 年は企業におけるセキュリティ実務者としての経験をお持ちの方を対象に開発されています。



主な出題範囲

CASP+ (試験番号 : CAS-003)	
1.0 リスクマネジメント	19%
2.0 エンタープライズセキュリティアーキテクチャ	25%
3.0 エンタープライズセキュリティオペレーション	20%
4.0 エンタープライズセキュリティにおける技術統合	23%
5.0 調査、開発およびコラボレーション	13%

試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
CAS-003	最大で 90 問	165 分	スコアは表示されず合格 / 不合格のみ

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

https://www.comptia.jp/certif/comptia_certification/